

がくいんふくいんか  
学院福音化のメッセージの序論で3つのことについて語られました。

# 1. Heaven, Throne ⇒ Power, Talent, Mission

(御座) (力、タレント、ミッション)

御座から来る力、タレント、ミッションを発見して味わいましょう。

# 2. 5分 + リズム + 刻印(24) = 25, 00

その御座の力を5分くらい黙想して祈るサミットタイムを持ちましょう。

3, 9, 3: 三位一体の神様と5つの力、3時代(牧会者時代、重職者時代、レムナント時代)

について祈りましょう。

そして、それが私の身についてリズムとなり、24時になって刻印になるまで続けましょう。

そうすれば、私とは関係ない、神様の時刻である25時、永遠という時刻表が私たちに来ます。

# 3. メモ + 作品

それが、私の人生のメモとなり、永遠に残る作品になります。

そこで、御座の力はなにか、メモはなにかを見ます。

## 1. 御座

1) 三位一体の神様(父、御子、御霊)が私とともにおられる

御座は、三位一体の神様がおられるところを表現したことです。

神様がどこにおられると思いますか。

神様は私たちとともにおられるのです。

すでに私たちとともにおられるので、どこかを探して、見上げて求めるのではなく、

2) すでに私の中に神の国が臨んでいます。

礼拝のとき、「天にまします、われらの父よ」と言いますが、「天にまします」というのは、どこだと思っていますか。「天」は、ギリシヤ語では複数形です。父である神様が私を天として、私の中におられるという意味です。私を神の国として臨んでおられるのですが、どうやって、そのように祝福されたのでしょうか。

ただ、イエス・キリストを通してできたことです。



## 2. 御座の力

御座の力は、どこからか来る力ではなく、私の中からあふれ出る力です。  
私が努力して持つ力ではなく、私の環境、背景、知恵、知識と関係なく、私とともに  
おられる神様からの力です。

イエス・キリストを通して、私たちは神様とともにいることができます。つまり、創世記  
1:27の神のかたちが回復したのです。それゆえ、イエス・キリストが福音です。この世でい  
ちばん喜びの知らせです。



### 1) ローマ 1:2-4

この福音は・・・私たちの主イエス・キリストです。

### 2) ローマ 1:16

福音は、ユダヤ人をはじめギリシヤ人にも（つまり、全世界の人々に）信じるすべての人にとって救いを得  
させる神の力です。

私が持っている御座の力は、神様の力であり、私が救われた力であり、私を通して福音が伝わり、信  
じる人々に救いを得させる力です。

3) イエス・キリストが十字架を通して、私たちに救いを与えてくださいました。

### I コリント 1:18

十字架のことは、滅びに至る人々には愚かであっても、救いを受ける私たちには、神の力です。

この世を征服して、強い力で三団体を越える力を持つとすることが、御座の力のための祈りではありません。  
すでにこの世の創造主であり、主権者、主人である神様がともにおられるので、神様が私たちを通して  
なされるみわざを待ち望み、祈りましょう。



## 3. メモ

御座の力であるイエス・キリストが、たましい、こころ、考えに刻印され、生活（残りの人生）  
を通して他の人々に読まれること。これがメモです。

### II コリント 3:2-3

2 私たちの推薦状はあなたがたです。それは私たちの心にしるされていて、すべての人に知られ、また  
読まれているのです。

3 あなたがたが私たちの奉仕によるキリストの手紙であり、墨によってではなく、生ける神の御霊によって  
書かれ、石の板にではなく、人の心の板に書かれたものであることが明らかだからです。

私たちには神様の力を持っていて、私たちを通してただ、イエス・キリストが読まれるように、毎日5分間  
のサミットタイムを持ち、祈り、メッセージを黙想することが大切です。それを続ける中で、ただイエス・キ  
リストだけが刻印され、どこにいても、なにがあっても、だれに出会っても、イエス・キリストが私たちを通  
して現れるように祈りましょう。